



Unofficial translation

プレスリリース

(非公式邦訳)

厳禁

本報告書の内容は、2007年10月16日17:00(グリニッジ標準時)以前に、新聞、テレビ、ラジオ、電子メディアの各媒体により引用・要約されてはならない。

(ニューヨーク 13:00、ジュネーブ 19:00、デリー 22:30、東京 10月17日 2:00)

UNCTAD/PRESS/PR/2007/034*

2007年10月16日

原書：英語

2006年のアジアへの直接投資額は2000億ドルへ

国連貿易開発会議 (UNCTAD) の世界投資報告書によると、南アジア・東アジア・東南アジアへの直接投資は2006年も増加傾向を維持し、前年比で約19%増の2000億ドルと、過去最高額を更新した (図1参照) 。

『2007年世界投資報告書：多国籍企業、資源産業と開発』¹によると、アジアを地域別に見た場合、南アジア及び東南アジアでは持続した成長が見られたが、東アジアへの直接投資の伸びは鈍かった。しかし、東アジアへの直接投資は、知識集約・高付加価値型の事業向けに移行しつつあると、報告書は指摘する。

国・地域別では、中国及び香港 (中国) が、域内最大の受入国としての地位を維持し、シンガポールとインドがこれに続いた (図2参照) 。中国への直接投資は、7年ぶりに減少した (4%減で総額は690億ドル) 。金融業への投資が減った事が主な理由である。香港 (中国) は430億

* お問い合わせ： UNCTAD Press Office, +41 22 917 5828, press@unctad.org, www.unctad.org/press.

¹ 『2007年世界投資報告書：多国籍企業、資源産業と開発 (WIR07) 』 (CD-ROM 付き、販売番号 E.07.II.D.9, ISBN 978-92-1-112718-8) は、US\$75(開発途上国では特別価格の US\$30)で以下販売事務所より入手可能です。同報告が CD-ROM のどちらかを購入、或いは大量部数の見積もりを希望する場合は以下販売事務所にお問い合わせください。ヨーロッパ、アフリカ、西アジア：United Nations Publication/Sales Section, Palais des Nations, CH-1211 Geneva 10, Switzerland, fax: +41 22 917 0027, e-mail: unpubli@un.org。北米、中南米、東アジア：United Nations Publications, Two UN Plaza, DC2-853, New York, NY 10017, USA, tel: +1 212 963 8302 or +1 800 253 9646, fax: +1 212 963 3489, e-mail: publications@un.org。Web: <http://www.un.org/publications>。

ドル、シンガポールは過去最高となる240億ドル、インドは170億ドルの直接投資の受入国となった。このインドの受入額は過去3年の対内直接投資の総額に匹敵する。

産業別では、第一次及び第三次産業への直接投資が著しく伸びた。資源産業では、国境を越えた合併・買収の総額が、前年の額のほぼ5倍にあたる17億ドルに達した。サービス産業では、中国での小売、タイでの通信、香港での輸送、インド、台湾、ベトナムでの銀行業などの産業で伸びが顕著であった。しかし、製造業関連の合併・買収は減少した。

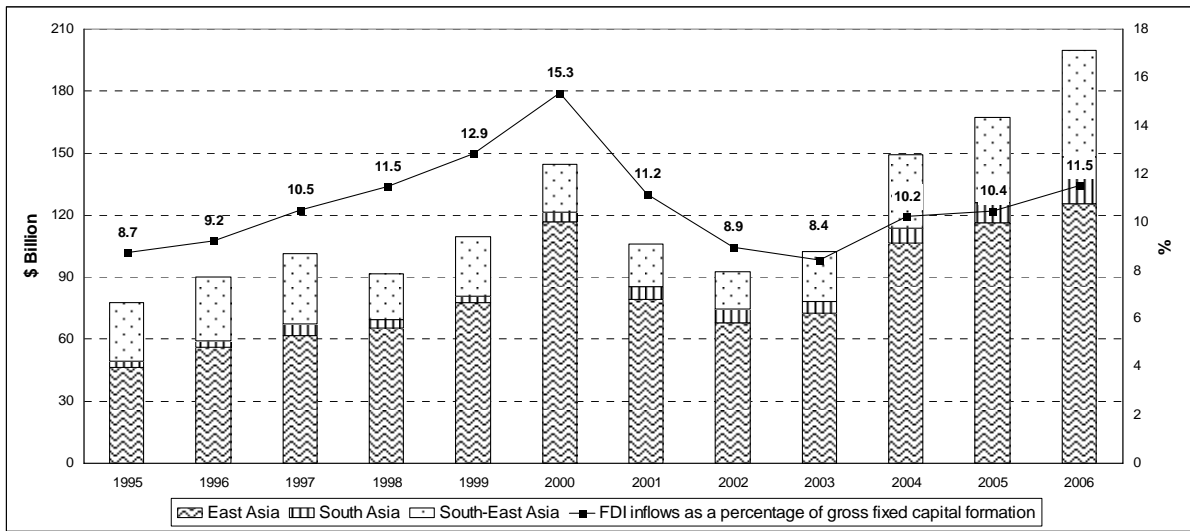
アジアの対外直接投資は、全域で増加し、総額は60%増の1030億ドルとなった。域内最大の投資源である香港からの直接投資は、60%増の430億ドルに達した（図3参照）。中国は主要な投資国としての地歩を固め、インドはその後を急速に追い上げている。これらの国の直接投資国としての台頭は、新興国が圧倒的であったアジア地域の対外直接投資の勢力図を変えつつある。中国・インドからの資源確保型の直接投資は増加し続けている。さらに、中国の国有企業、またインドの財閥系の企業—例えばタタ・スチール（インド）によるコーラス（英・蘭）の110億ドルでの買収—による海外での戦略的資産の買収が、これらの国からの先進国への直接投資の増加につながった。

南アジア・東アジア・東南アジア経済の高成長は、引き続きこの地域への市場確保型の直接投資を促進すると報告書は示唆している。また、中国、インド、ベトナムなどの国がインフラ設備を拡充するのに伴い、効率性確保型直接投資の観点からも、この地域は投資を引き付けるだろう。2007年上半期のこの地域での国境をこえる合併・買収の総額は、前年の同じ時期に比べ20%増加した。また、この地域からの対外直接投資も引き続き増える見込みである。

*** ** ***

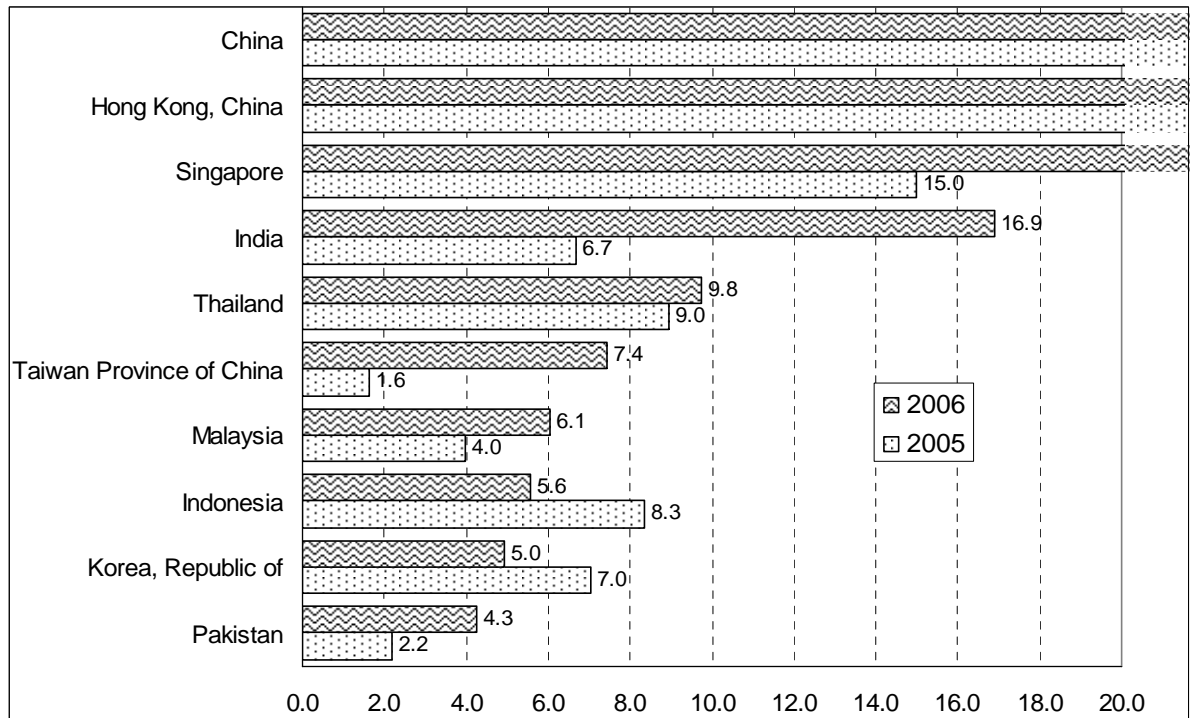
「世界投資報告書」および報告書内の統計はそれぞれ www.unctad.org/wir、www.unctad.org/fdistatistics でご覧いただけます

図 1. 南アジア・東アジア・東南アジアの対内直接投資：総額（単位：10 億ドル）と固定資本形成と比較した場合の割合（%）1995年-2006年



出典：UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

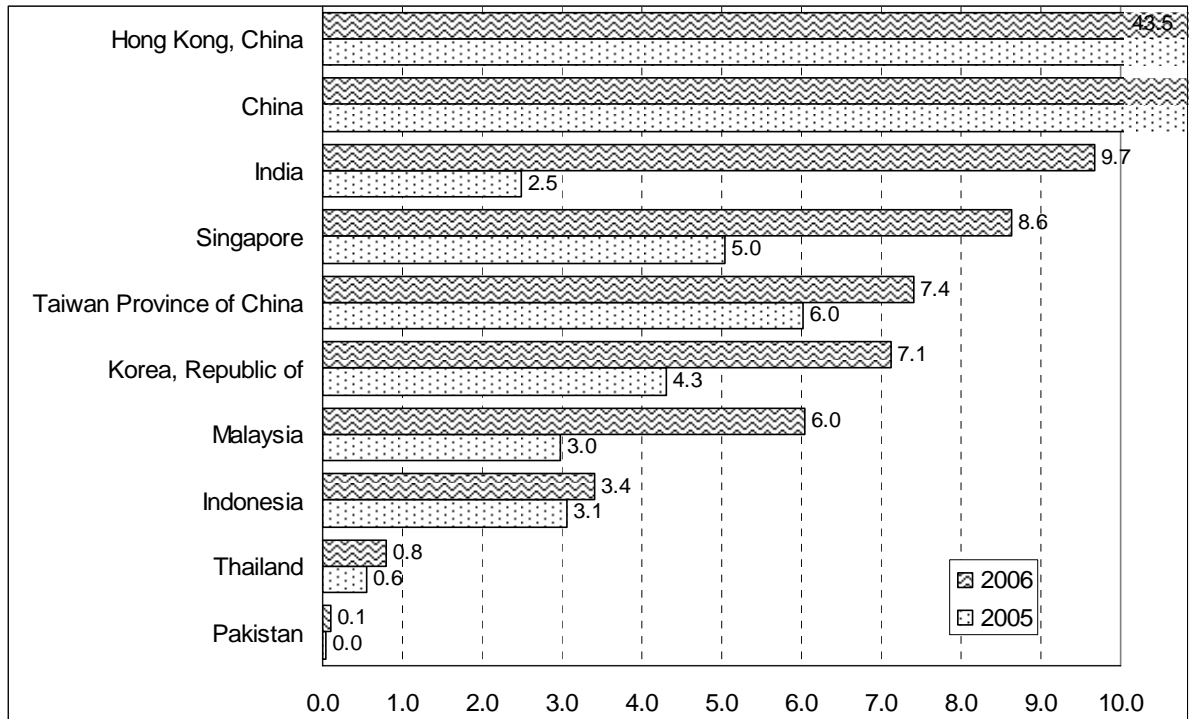
図 2. 南アジア・東アジア・東南アジア：国別の対内直接投資，上位 10 カ国・地域、2005年 - 2006年^a（単位：10 億ドル）



出典：UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

^a 2006 年の対内直接投資額による順位。

図 3. 南アジア・東アジア・東南アジア: 国別の対外直接投資, 上位 10 カ国・地域、2005 年 - 2006 年^a
(単位: 10 億ドル)



出典: UNCTAD 『2007 年世界投資報告書』

^a 2006 年の対外直接投資額による順位。